

# メガトレンド

当事業と関連性の高いメガトレンドとして以下のものがあります。当社の企業理念に加え、これら社会課題の変化を踏まえて当社の重要課題(マテリアリティ)を選定しています。



## 気候変動問題の深刻化

- 地球温暖化は社会・経済に甚大な影響を与える可能性があり、環境配慮意識が向上している
- 途上国を中心にエネルギー需要が増加する一方、クリーンエネルギーへの移行が加速している
- こうした外部環境変化により、環境親和型製品・サービス市場の拡大、クリーンモビリティの拡大が進行、廃棄物削減・リサイクル化も重視される



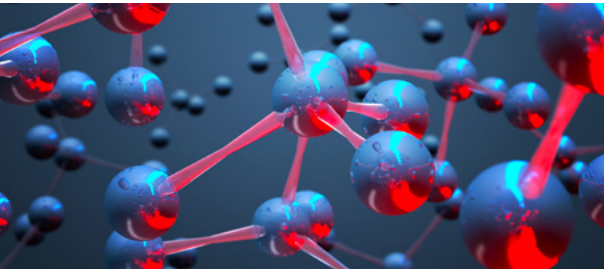
## AI/テクノロジーの発展

- ロボティクスの発展、AIや機械学習の発展により、省人化が可能になる
- 3Dプリンターの拡大によりモノづくり手法に変革が起こる
- こうしたテクノロジーを活用した生産性改善の実現等によりモノづくり効率化が進展する



## 地政学・調達リスクの高まり

- 近年、地政学リスクやレアメタルの獲得競争等により調達リスクが高まっている
- 原材料の入手困難性に対するコントロールといった対応が必要となる



## 高品質素材への要求の高まり

- 自動車の電動化や、医療技術の発展などにより、顧客からの新素材の応用と発展に対するニーズが高まる
- こうした事業環境・ニーズ変化に合わせた製品・サービスの提供が重視される



## 人材不足・人材獲得競争

- 労働力人口減少により人材不足・人材獲得競争といったリスクが高まる
- 省人化による効率化や企業価値向上による人材獲得が重要になる



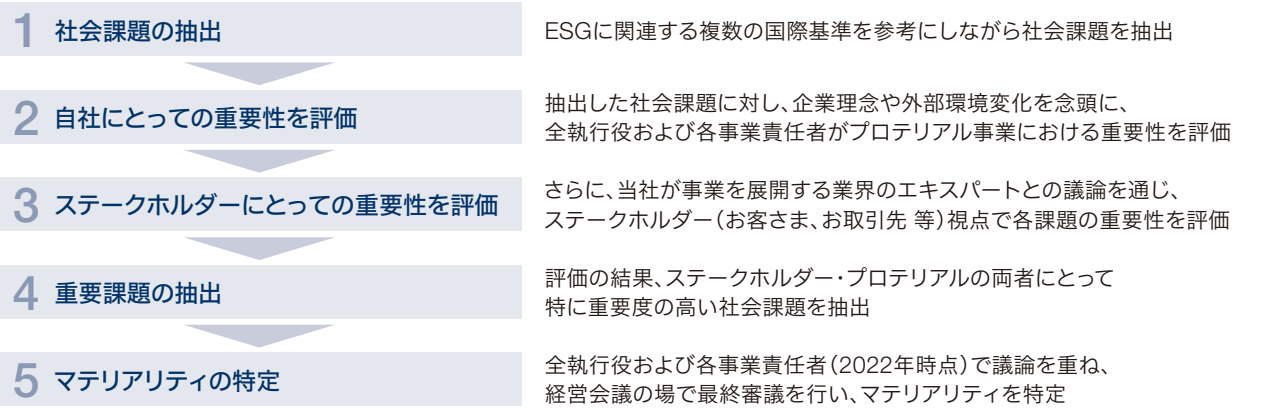
## ガバナンス強化の社会的要請

- 企業の透明性について重要性が増大しており、対応次第ではレピュテーションリスクの懸念がある
- 企業活動の見える化促進が重要になる

# マテリアリティ

プロテリアルは、2022年にESGの取り組みにおける6つのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。特定するにあたっては、社会課題の抽出から始め、自社にとってのステークホルダーにとっての重要性を評価したうえで、当社にとっての重要課題を抽出しました。そのうえで、全執行役および各事業責任者で議論を重ね、経営会議の場で最終審議を行い、マテリアリティを特定しました。

## マテリアリティ特定プロセス



## マテリアリティ(重要課題)

| マテリアリティ |                            | 内 容                                                                                                   | 関連する外部環境変化<br>(機会とリスク)                                                                                                       | 関連する<br>SDGs |
|---------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 環境      | 脱炭素社会実現への貢献                | 当社Vision「持続可能な社会を支える高機能材料会社」のもと、温室効果ガスの排出量が実質ゼロ(カーボンニュートラル)となる社会の実現に向け、製造活動やエネルギー利用における排出の削減を通じた貢献を行う | 機会<br>気候変動の深刻化に伴う顧客・サプライヤー・政府等のカーボンニュートラル推進機運の高まり 等<br>リスク<br>温室効果ガス排出に関する規制の強化、エネルギー需要増・地政学リスクによるクリーンエネルギー価格の上昇 等           | 7<br>13<br>9 |
|         | 省資源・リサイクル・環境親和型製品の拡大       | 当社Vision「持続可能な社会を支える高機能材料会社」のもと、省資源・リサイクルを推進するとともに、環境課題解決に資する製品を設計・提供することで、持続可能な社会の実現に貢献し続ける          | 機会<br>顧客業界での環境取り組み推進による環境配慮型製品市場の拡大、廃棄物削減・リサイクルの推進機運の高まり、新素材技術の発展 等<br>リスク<br>リサイクル資源需要増、レアメタルの獲得競争、地政学リスク等による資源価格の高騰・調達困難 等 | 12<br>13     |
| 社会      | 安全と健康をすべてに優先させる            | 「安全と健康はすべてに優先する」という行動原則を徹底し、社員とその家族のみならず、自社と関わる地域社会、取引先を含めたステークホルダーの心身を守ることを最優先に行動する                  | 機会<br>危険業務のロボットへの代替技術発展 等<br>リスク<br>人材獲得競争の激化による後継者不足、感染症の流行、自然災害の発生 等                                                       | 5<br>8       |
|         | 多様な個を変革と成長の推進力にする          | 当社Values「絆則彊」のもと、社員一人ひとりをお互いに尊重し、それぞれがやりがい・信頼感・愛着を持って働くことができる職場づくりに努めることで、共同して成果を出すチームを実現する           | 機会<br>人材獲得競争の激化による働き方改革の重要性・社会的気運の高まり 等<br>リスク<br>人材獲得競争の激化による人材不足 等                                                         |              |
| ガバナンス   | 品質をストロングポイントにする            | お客さまに高い品質を安定してご提供するために、品質保証問題の再発防止策を徹底的に実行し、品質を他社と差別化された当社グループの強みとする                                  | 機会<br>品質保証に対する社会からの関心の高まり、内部不正対策等に関する技術の進化 等<br>リスク<br>—                                                                     | 9            |
|         | 外部環境変化を先取りするビジネスモデル・プロセス進化 | 目まぐるしく変わる外部環境を先取りし、製品・サービスの提供価値、材料調達や生産方法含め企業運営の在り方を柔軟に変化させていくことで、社会からの要請に応え、社会から必要とされる企業であり続ける       | 機会<br>顧客からの外部環境変化への強靱性に対する要請増大(安定供給等)、関連技術の発展(新素材、研究開発技術等) 等<br>リスク<br>地政学リスクの増大、感染症の流行、自然災害の発生 等                            | 17           |